



卓 話



クラブ協議会

★小林久会長

私が四谷ロータリーに入りました、ちょうど14年が経ちました。ロータリー知識もないまま諸先輩方と関わり、チャーターメンバーである大塚会長の時の幹事、分区分区幹事等を経験してきました。まだ未熟ですが精一杯努めていきたいと思っております。



昨年12月3日の年次総会におきまして、今年度の役員、理事を承認して頂きました。今年度も一年間四谷ロータリーの為に全精力を傾けたいと思っておりますので、皆様のご協力宜しくお願いいたします。今年度は「最初があるから、今がある、世代交流、みんなと共に」をテーマにかかげました。当四谷ロータリークラブも26年目を迎えますが、諸先輩方が築き上げてきたロータリーの精神を守り、四谷ロータリークラブ独自の伝統を引き継いでいく為、全会員が同じ認識で付き合えるようにしていきたいと思っております。そこで、人材育成を目的に勉強会などを開き、又これは今年度のガバナー方針と一致していると思っておりますが、会員を良く知る為に会員による卓話の実施を行いたいと考えています。

今年の大きな活動の一つとして、8月より青少年交換留学生を引き受けることになっております。皆様にご協力頂かなくてはならない大変な事業です。又秋には懇親ゴルフ会中央分区分区予選会ホストのお役目があり、ホストクラブとして恥じない会にしたいと思っておりますのでご協力宜しくお願い致します。

一年間、皆様と笑顔で過ごすのが一番の願いです。身体に気を付けて頂き、とても良かったと思えるようなロータリーライフとなればと思います。ご協力宜しくお願い致します。

★藤原副会長

退会する方の話を聞くのは、それぞれ事情があるとは思いますが何度聞いても胸が痛くなります。今日は初日で気分を入れ替えて、話をしたいと思っております。

私はノミネーではない副会長です。このシンプルな副会長の使命はとてもシンプルです。会のために小林会長を支

え、幹事を支える事だと思っています。

先日、菅総理大臣が就任しました。就任の時に話されていたフレーズで「最小不幸の実現」ということをおっしゃっていました。私はそれを聞いて最初の言としては良いと思っておりました。それに習って言うなら我々の組織の中でテーマに掲げられた「世代交流、みんな共に」は、一部の方だけに負担がかからないように、皆が公平に負担し、楽しく会が運営、発展することです。その様な所に心配りをして小林会長を支えたいと思っております。

★小林俊次年度クラブ奉仕委員長

小林会長の方針「世代交流、みんなと共に」ということのできるだけ会長を補佐し、四大奉仕の中でクラブ奉仕委員会がうまく運営できるようにお手伝いをしたいと思っております。

クラブ奉仕の中には8つの委員会があります。出席委員会については出席委員会の方も努力をしていますが、現状の出席率は70パーセントにいくか前後ですので、出来るだけ出席して頂けるよう努力をしたいと思っております。それからプログラム委員については、今年も素晴らしい卓話を企画しているので、それを聞きに出席する会員が増えるように努力したいと思っております。クラブ奉仕委員長は色々なことの見習いをするという意味が大きいようで、実際自分でするのではなく、人様のしていることを見習い、手伝っていかなくてはいけないと思っております。何かありましたら出来るだけご協力致します。今日が初日ですので、これから色々問題が起きるかもしれませんが宜しくお願い致します。

★大塚職業奉仕委員長

職業奉仕というのは本来ロータリーにおいて一番大切な部分で、職業は奉仕をする機会の一つであるように位置づけられています。しかし、どちらかという職業奉仕は軽んじられている気がします。そういう意味で会員同士の職業を良く知ることが、より交流を深め、親睦を深めることにつながる一番大事なこととし、テーマとして実践したいと思っております。

本年度のガバナー方針や地区職業奉仕の方針でもありますが、職業を通して環境問題をどうとらえるかを考えてみようということですので、是非、当クラブでも実践したいと思っております。又本年度の会長方針であります全員卓話の中に於いて、職業を通じた環境問題をテーマにして会員卓話

をして頂きたいと思います。そうすれば職業奉仕がより身近に考えられるのではないかということですのでご協力いただきたいと思います。方針にも書いてありますが、拡大をする為の職業分類の見直し、継続事業をしっかり引き継いでやっていくことは当然のことであると思っています。1年間ご協力宜しくお願い致します。

★大野プログラム委員長

ガバナーの要請でもあり、小林会長の要請でもありますが、全員卓話ということで「世代交代、みんなと共に」という小林会長の姿勢を大切に、プログラムを組み立てていきたいと思っています。

大塚職業奉仕委員長の話にもあったように、諸先輩方には恐縮ではありますが、職業奉仕を通じ、環境問題をテーマにして、例会で10分程の卓話をイニシエーションスピーチとしてお願いし、若い者を鍛えて頂きたいと考えています。又出席率が余り高くない会員の方々に出席を促すという意味でも、積極的に卓話をお願いしたいと思っています。

他には、地区からの卓話者受け入れの要請もありますし、外部の卓話者にもお願いして、調整型のプログラムで1年間頑張っていく予定です。ある日大野から突然電話がかかり、卓話のお願いをされるかもしれませんが、その時は宜しくお願い致します。

★酒井国際奉仕委員長

国際奉仕はご存知のようにロータリー財団、米山奨学委員会、世界社会奉仕委員会、青少年交換委員会の4つの被包括委員会で成り立っています。それぞれの今年予定されている活動を報告します。

ロータリー財団は、秋葉委員長が担当します。今年度から新しくできた新地区補助金の活動計画を考え、実行は次年度ですがその適用に向けて働きかけるつもりです。

米山奨学委員会に関しては米山奨学生の受け入れはありませんが、米山月間では米山奨学会の活動をまとめたDVDの第2弾が出ましたので、ご覧になって理解を深めて頂きたいと思います。尚、米山学友を中心としたロータリークラブが、世田谷中央ロータリークラブをスポンサーとして本年2月11日に創立、5月30日に認証式を受け、東京米山友愛ロータリークラブとして設立されましたことを報告致します。

世界社会奉仕委員会は安田会員が担当致します。25周年の時にお伝えしたように、ラオスへの支援を30周年の記念事業として考え、準備を進めています。また、これまでのラオスの学校建設等の支援内容や、現在の状況に関する勉強会を開いて、全員の理解を深めることを考えています。

最後に青少年交換委員会です。これは太田委員長が担当致します。青少年留学生在が8月5日に来日予定です。当日は地区委員及びクラブ会員で迎えに行く予定です。それぞれに留学生の資料を配っていますので、ご覧頂きたく存じます。名前はケイ・オカベさんです。母親が日本人で、父親は宇宙関係の部品を製造する会社に勤め、母親はニューヨークの野村アセットに勤めています。駿大学園高等学校の2年生に在籍する予定です。ソフトボールをやっている非常に活動的な子ようです。8月5日に成田に来日した後、8月6日に外国人登録を済ませ、8月10日からYMCA東山荘で日本語の集中研修を約2週間受けます。9月から月に1回は例会に参加して1年間受け入れていくということになります。

ファースト・ホストファミリーとして、地区から紹介して頂いた方に最初の半年間預かって頂きます。雨宮さんという42歳の方で10歳のお子さんをお持ちの青戸在住の方です。これからセカンド・ホストファミリーを皆さんに探して頂くこととなりますが、来年2月から2、3家族のホストファミリーをクラブとして準備が必要になると思います。お友達、知人の方に働きかけ等をしていただけると助かります。ご協力お願い致します。母親が日本人なので、祖父母や親戚の方が東京におられるそうです。プログラムの取り決めで、親戚には一定期間会ってはいけないことになっています。